

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	松本市、富士見町視察研修
実施日	2017, 7, 10
参加議員	若林幹雄、山浦利通、高森公武、阿部貴代枝

1 東御市における課題と研修・調査の目的

松本市＝東御市内にも、荒廃農地が空際な勢いで増加している。松本市の四賀で、クライデンガルデンの事業をしていて、多くの住宅付き農地を貸し出して、活性化を図っているのをそこを視察研修した。

富士見町＝東御市の少子化に伴う人口減少の対策としての若者の移住定住を検討する必要があると考えている。若者の移住定住を図っている富士見町の、サテライトオフィス、シェアオフィスで若者がどのような形で、移住、定住しているかその状況を視察研修した。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	高速道料金	安曇野～諏訪南	1,600
	有料道路	新和田トンネル帰り	620
	ガソリン代	東御市～松本市～富士見町～東御市(202K)	7,474
	お土産	2か所	3,500
	合計		

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	2017, 7, 10
視察場所及び 部局等	松本市四賀 坊主山ラインガルデン 松本市、農林部農政課生産振興担当係
視察事項	クライデンガルデンの事業内容を現地視察
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここは、82%山林で養蚕に代わるものができなかった。四賀の村長が視察先で見てきたラインガルデンを取り入れた事業として始まった。 <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ログハウスの内容と、利用状況、地域との交流等の状況を説明される。 ・2つのラインガルデンで、131個用意されている。1戸につき、整備費は1000万円ほどで、一戸当たりの建設の整備が650万円、740万円。 ・平成21年度から指定管理で維持管理を行っている。 ・毎月、行事を行い、市民との交流を大切にしている。 <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地の活用は、重要だが、整備に多額な資金が必要である。 ・ログハウスは素敵だが、視察したところは需要があるようだが、東御市では、どのくらいの借り手が見込めるか、方法がいい事業だが、需要がどのくらいか見極めて行わなければ、難しい。

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

	実施日時	2017, 7, 10
	視察場所及び 部局等	富士見町 総務課企画統計係
	視察事項	サテライトオフィス、シェアオフィス計画について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度から行われた富士見森のオフィス計画、テラライトオフィス、シェアオフィスを訪問し、その事業内容を現地視察した。 <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士見町の課題。 ・テレワークの導入経過。 ・ホームオフィス計画、サテライトオフィス計画について <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の空き家の活用や、首都圏からの家族連れ、単身者の転入もあるが、現在は、この入居事業で、7社が入り、シェアハウスで仕事をしていて、28年度は、30名ぐらいということだが、将来的に、人口増や、地域の活性化にどのくらい、貢献していくかは、入居企業との連携を深く、強く図りながら進めていかなければならないと感じた。 	

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	会派合同視察
実施日	平成29年8月9日～10日
参加議員	17名全員

1 東御市における課題と研修・調査の目的

- 1、高地トレーニングの現状と課題について
湯ノ丸高原高地トレーニングの設置による他施設の現状視察のため。
- 2、大規模火災の現状について
糸魚川市の火災についての課題等について

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	交通費	バス借り上げ代	49,500
	有料道路等代	高速道路料金	4,240
	宿泊費	13000円×4人分	52,000
	日当	2200円×2日×4人	17,600
		個人負担	
合計			141012

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

(123,340)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	平成29年8月9日～10日
視察場所及び部局等	岐阜県飛騨高山御嶽高原高地トレーニングエリア
視察事項	高地トレーニングエリアの現状
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オケジッタ日和田高原ゾーン、チャオ御岳リゾートゾーン、濁河温泉ゾーンのトレーニングセンターなどの状況視察のため <p>(2) 視察事項について</p> <p>飛騨高山御嶽高原高地トレーニングエリア</p> <p>3か所を視察したが、壮大な山の中で、驚きました。スキー場の跡地の高低差をうまく活用したところや、濁河温泉のスポーツ施設は、健康管理や食事等、いろいろな配慮がされ、スポーツで活躍することも、なかなか、いろいろな管理があり大変だと感じました。</p> <p>日和田ハイランドの河を利用した天然のアイシング場には、感心した。ほてる足を川の流れに任せながら、アスリートは何を語り、思っているのか、想像してみた。</p> <p>パノラマのトラックゾーンを走る心持はどうか。ここから、優秀なアスリートがどのくらい輩出していくか、大変な練習に耐えていることを考えながら視察した。</p> <p>3か所で、多くの設備費が予想もつかないが、金メダルのためには、必要な整備費かもしれない。</p> <p>しかし、どこも山の中だ</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>高地トレーニングは、場所もだが、設備、宿泊など多くの事に経費が掛かり、どこまでの整備が必要なのか、見当もつかない。</p> <p>ただ言えることは、この高地トレーニングでは、3か所あるが、使う人は、かなり不便を感じているのではないか。</p> <p>多くが関西圏であるが、関東圏を考えた時、湯ノ丸の施設は、交通の便だけは、いい。これは利用するアスリートにとっては、かなり、有意義であることは間違いない。</p>

実施日時	平成29年8月9日～10日
視察場所及び部局等	新潟県糸魚川市
視察事項	糸魚川市の大火について
報告内容	<p>(1) 視察先概要 糸魚川市の大火について、当時の状況と現場の視察</p> <p>(2) 視察事項について 昨年の12月の大火について多くの説明を受けた。 焼けた面積が大きいのに、死者が一人も居なくてよかった。 軽いけがをした方は少し居たようだが、広大な焼けた現場を見て、ラーメン屋のちょっとした不注意で、このような災害になったことにぞっとするようだった。 海の水も、すぐには、引っ張ってきて使えないことがわかった。私たちが考えれば、目の前に海があるから、水は豊富だと思ったが。 視察の時には、ほとんどきれいに整備されていたが、遠くに1件の建物が残っていたことが不思議であった。確か、アルミ製と聞いたが、その材料が高いかわからないが、アルミだと燃えないのだと思った。 火事は怖い。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること 糸魚川市の火災は、死者はいなかったが、これからどのように再興していくか。課題は山積みと思うが、よい形でいいまちづくりができることを祈りたい。 また、東御市は、街中は、狭い道が多いので、火事になった時、消火作業がうまくできないことが懸念される。 後退道路の制度で、少しずつ改善がされているが、この課題は、市の中で、しっかり、検討していかななくてはならない。また、絶対火災を出さないよう、みんなで最良の注意喚起が必要である。</p>

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	若者の居場所づくりと高齢者の居場所づくりの2か所を現地視察した。
実施日	平成30年2月15日
参加議員	若林幹雄、山浦利通、高森公武、阿部貴代枝

1 東御市における課題と研修・調査の目的

・若者の社会へ出ていく前の立ち止まりに対する課題（居場所づくり）と、高齢化による地域の助け合い（住み慣れた地域で暮らす）を上手に行っている2つのNPO法人を視察することにより、東御市の課題を解決し、町の活性化が図れないか現地視察をした。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	電車賃	J R (上田～大宮～高崎～上田)	47,960
	タクシー	高崎駅～棟高町	3,430
	タクシー	棟高町～高崎駅	3,610
	日当	2200円×4人	8,800
	土産	2か所	5,000
	合計		68,800

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	平成30年2月15日
視察場所及び部局等	NPO法人「さいたまユースサポートネット」 若者の自立支援ルーム
視察事項	若者の居場所づくりについて
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会に出る前に立ち止まってしまう若者の支援の在り方について ・ 地域も巻き込んだ若者支援の活動の状況を現地視察。 <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の跡地を活用して、さいたま市から事業の内容の指定管理を受けて運営している支援ルームを視察。 ・ 若者とほぼ同じくらいの年齢による運営状況。 ・ 10台から20代くらいの若者が、大勢通ってきていた。 ・ 厨房では、通所している2人の若者が昼食の準備をしていた。 ・ ひとりで本を読んでいる女性が座っている。 ・ 3名でカードゲームをしている若者が自分の居場所として楽しそうだった。 ・ ここからすでに、70名の若者が社会に巣立っていったという。 <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 通ってきている若者がここに、居場所を見つけて、楽しそうだった姿がなぜだか嬉しかった。 ・ 地域のボランティアが横にある菜園に野菜を植え、管理しており、地域を巻き込んだ運営をしていることがすごいと感じた。 ・ 別のところにも、3反分の畑で、野菜などを作って、昼食用に利用するという。 ・ 東御市内でも、多くの若者が立ち止まっていると感じているので、しっかりと社会に出ていける体制がとれているところをもっと、私たちも取り入れ、学ぶことが重要であると感じた。

実施日時	平成30年2月15日
視察場所及び部局等	認定NPO法人「じゃんけんぽん」
視察事項	住民参加で在宅福祉サービスを行っている高齢者の居場所について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃんけんぽんの地域包括ケアシステムに向けた取り組みの状況を視察 <p>(2) 視察事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいの居場所「近隣大家族」の状況 ・ボランティアによる生きがいつくりの配食事業の状況 ・自助、共助、最後に公助による助け合いの仕組み作り ・じゃんけんぽんに来れば、そこに居場所があり、仲間がいる。 <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これから超高齢化時代に入り、高齢者自らお互いに仲間を支えなければいけない時代になる。ここは、それを目指し、実践しているところに、地域包括ケアの精神があると感じた。東御市も、是非、この点をしっかり考えていかなければならない。

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	市町村議会議員研修特別セミナー
実施日	2017年4月13日～14日
参加議員	若林幹雄、山浦利道、高森公武、阿部貴代枝

1 東御市における課題と研修・調査の目的

- 1、東御市で大災害が発生した時、議員はどのように対応したらよいか具体性が無いので、南相馬市長の経験を機器、災害があった時の議員の対応の仕方は何かを考えるため。
- 2、人口減少の中、東御市の地域経済の活性化や、地域振興をどのように捉え、活性化策を考えたらよいか。講義を受講し、考えていきたい。
- 3、議会の活性化がまだ図られていないので、東御市議会の活性化を図るための講義を聞き、議会の活性化を図っていききたいため。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	有料道路	新和田トンネル往復	1, 240
	高速代	岡谷～大津往復	13, 920
調査研究費	ガソリン代	東御市～岡谷～大津(715K)	26, 455
研修費	参加負担金	6650円×4名+432円	27, 032
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
合計			68, 647

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	2017年4月13日～14日
視察場所及び 部局等	滋賀県大津市、全国市町村国際文化研修所
視察事項	研修会
報 告 内 容	<p>(1) 研修会概要</p> <p>1、南相馬市長、桜井勝延「大震災を乗り越え、未来を築く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東北の大震災、大津波、原発事故を乗り越えて、どのように復興してきたか、これからどうしていくのかの話聞いた。 ・国に頼ってもなかなか進まない、自分たちが住民と汗を流さなければ、住民のことは理解できない。 ・人のせいにしては何も解決できないと頑張っている市長に敬意を称する。 <p>2、SMBCフレンド証券、松野利彦「世界情勢と地域経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界経済と、最近の株価の同行、いろいろ世界の同行の話で株の話が多かった。地域経済というタイトルもあったが、よく理解できなかった。 <p>3、講談社、瀬尾傑「デジタルでメディアはどう変わったか、地域振興と情報発信」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディアの変革と、地域経済に及ぼす影響はどのように変わってきたか、変わっていくのかの話であった。 ・今は、新聞、テレビを塘さなくても、自分の好きな情報を拾い、また、それを発信できる社会である。 <p>4、地方公共団体情報システム機構、西尾勝「市町村議会の活性化に向けて」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正当な議会議員の活動とはどのような物であるかを聞いた。 ・武蔵野市で、計画行政の推進が、議員の口利きで領域を狭め、はるかに整備が遅れた事例があった。 ・個別の利益を実現するために、一般ルールに反する行政決定権を強要することは許されない議員の活動である。 <p>(2) 所感・市政に活かせること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修は、経済、㈱、など難しい話題であった。また、議会の活性化に向けて補講義は、いろいろな事例が出されたが、ありえないと感じる事例で、わが市においては、無いと感じた。 ・南相馬市の話聞いて、議員は、どのような部分で、動けるのか、改めて全体で、検討するか、事例が起きたときに改めて、誠実に動くのか、なかなか

か難しい課題であると思った。ただ、検討できる部分は、考えておかないと、いざという時、動けない。

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	政策議会としての自治体議会と政策資源としての一般質問研修
実施日	平成30年3月30日
参加議員	若林幹雄、山浦利通、高森公武、阿部貴代枝

1 東御市における課題と研修・調査の目的

一般質問を政策にいかにかけるかの研修を受けること

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○)	電車賃	JR上田～大宮～池袋往復	43,940
	参加負担金	25000円×4人+648円	100648
調査研究費			
研修費			
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
合計			144588

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

政務活動記録簿

会派名	太陽の会
事業名	市町村議員研修「防災と議員の役割」
実施日	平成30年1月11日～12日
参加議員	山浦利通 議員、高森公武 議員

1 東御市における課題と研修・調査の目的

現在東御市においても議会活性化の取り組みの中で災害時の議員の役割について検討しているところである。とりわけ昨年10月の台風に伴う気象警報発令については夜11時に東御市初の避難命令が発令され、各小学校の体育館に避難所が開設された。しかし避難所開設時における議員活動については明確な方針もなく、それぞれの議員の判断に委ねられた。今回の研修は災害時の議員の役割について学ぶ絶好の機会となった。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額 (円)
(該当項目に○) 調査研究費 研修費 広報費 広聴費 要請・陳情活動費 会議費	電車賃	J R 上田～滋賀県大津市往復	68,300
	飛行機代		
	タクシー		
	レンタカー		
	ガソリン代		
	宿泊料		
	日当		
	資料代		
	謝礼		
	参加負担金	2名参加 (一人当たり研修費7300円) 1名病欠 (負担金3000円)	17,600
	合計		85,900

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	平成30年1月11日～12日
視察場所及び 部局等	全国市町村国際文化研修所 (滋賀県大津市)
研修事項	災害時における議員の役割について
報 告 内 容	<p>研修の内容は以下の通りである。</p> <p>1月11日</p> <p>1、講義 地域防災力を向上させるために 明治大学大学院危機管理研究センター特任教授 中林 一樹氏 現在我が国が直面する防災の課題と、これに対する地域の防災力 について概括的に説明いただいた。</p> <p>2、講義 平時の防災 跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 地域防災計画の課題、東日本大震災を事例に防災への対応につ いて具体的に講義していただいた。</p> <p>3、講義 平時の防災と議員の役割 跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 こうした災害に対し、災害前と発災後にわけて議会・議員の役割に ついてご教授いただく。具体的には災害時における地域での支援 活動、情報収集、視察の受け入れ、地域からの要望活動、復興計 画などその場面場面における議会・議員の役割の重要性が指摘さ れた。</p> <p>1月12日</p> <p>4、講義・演習 災害時の議員の役割 跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 災害時における議会・議員の役割をワークショップ形式で学んだ。</p> <p>5、事例紹介 災害直後、復旧・復興期における着意の役割 熊本市議会議員 小池洋恵 氏 コーディネータ 跡見学園女子大学教授 鍵屋 一 氏 「熊本地震から考える地域防災力、コミュニティを支える地方議員 の役割」と題して現在熊本市における取り組みを紹介していただい た。講師の小池洋恵氏は現職の熊本市議であり、講義内容は当時 の写真を多用し迫力あるものでした。災害については事前の取り組 み、発災後は地域コミュニティの一員としての取り組み、復興時にあ たっては計画立案が重要であることが示されました。</p>